

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策 I-5-1 産業人材の育成

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

雇用政策課長 得能 昌信

電話番号

0852-22-5296

| | | |
|---------|---|--------------|
| 事務事業の名称 | 技能評価・向上事業 | |
| 目的 | (1) 対象 | 技能労働者 |
| | (2) 意図 | 技能レベルの向上を図る。 |
| 事業概要 | ○労働者の技能と地域の向上を図るため、技能を評価する技能検定を実施するとともに、技能競技大会への参加を支援する。 ○技能者の地位の向上と県民の技能に対する関心を高めることを目的に、優秀な技能者の表彰や認定を行う。 ○職業訓練指導員の免許申請者に対して免許を交付する。 | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 技能検定合格者数 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|------|----------|------|----------------------------|------|------|------|------|----|
| | | | 式・定義 | 技能検定（特級+1級+単一等級+2級+3級）合格者数 | 目標値 | | 750 | 750 | |
| | | | 実績値 | 846 | 835 | 746 | 745 | | |
| | | | 達成率 | | 111 | 100 | 99 | | % |
| 指標名 | 式・定義 | 技能検定合格者数 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
| | | | 目標値 | | 0 | 0 | | | |
| | | | 実績値 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | | 達成率 | | 0 | 0 | | | % |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| 事業費 (b) (千円) | 26,175 | 30,470 |
| うち一般財源 (千円) | 15,998 | 18,270 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 技能検定受験申請者数
H23 1,452名 H24 1,485名 H25 1,269名 H26 1,301名
- 第52回技能五輪全国大会出場者数
4職種 8名（前回大会：3職種 6名）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・H26年度は受験料が上がり受験者数への影響が懸念されたが、県警者との連携・協力により、H25年度よりも申請者数は増えた。
- ・技能五輪全国大会は、前年度より職種が1職種、出場者が2人増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・技能五輪全国大会等の技能競技大会への選手派遣を行う企業が限定されつつある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・大会の開催時期の問題もあるが、選手の育成や派遣の費用等、企業負担が大きいことが考えられる。

③原因を解消するための「課題」

- ・開催時期については、国に対して団体や全国職業能力開発主管課長会議で国に対して要望されているが、会場の都合もある模様。
- ・島根県職業能力開発協会が受託している「若年技能者人材育成事業」を活用する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・技能五輪競技大会等への選手派遣については、H25年度から実施している「若年技能者人材育成事業」を引き続き活用し、受託者である島根県職業能力開発協会と協力して支援していく。
- ・引き続き職業能力開発協会や技能士会連合会等の関係団体と連携し、技能検定制度についてPRし、事業所の従業員等の受検に向けた気運を高めていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）